

第139回 東葛しぜん観察会

江戸川土手で虫とコウモリ、望遠鏡で土星も見よう！

守永 博夫（習志野市）

日 時：8月26日（土）16時30～19時30分 天気：曇

場 所：松戸市江戸川土手（松戸駅西口）

参加者：24名（内 子ども9名）、指導員14名

担当指導員：草野、高野、守永

夏休み最後の土曜日 24名の参加者 3班の予定のところ4班に増やしての観察会となりました。大気の不安定な日が続く中、雨の心配もありましたが予定どおり行うことができました。

挨拶の後、注意事項を確認、足首体操をして、いよいよ観察会の開始。まずは昼の観察会。土手の斜面の草が生えているところでバッタやコオロギなどを捕まえます。大人も子どもも皆んな夢中。捕まえたバッタなどをプラカップに入れて全員集合。昆虫に詳しい指導員から解説を聞きます。捕まえた昆虫は、ショウジョウバッタ、トノサマバッタ、オンブバッタ、クルマバッタモドキ、クビキリギス、ハラビロカマキリのたまご、アオモンイトトンボのなまこ、ヤマトシジミなど。その後、生き物は逃がしてあげました。

午後6時ごろから、土手の上で暮れゆく空を眺めながらの休憩タイム。お弁当を食べながら、一番コウモリが飛ぶのを探します。バットディテクターも使います。空が暗くなってきたころ、バットディテクターがコウモリの超音波を捉えます。操作していた子どもも得意げ。そのうち、沢山のコウモリが飛び交います。中には目の前を飛ぶものもいて、こんなに近くで見るのは初めてという人がほとんど。感動。コウモリクイズなどもして、コウモリについての理解を深めました。例えば、アブラコウモリの重さはたったの6グラム(1円玉6枚分)。軽いのにビックリ。

ようやく暗くなってきた午後6時半からは夜の観察会。鳴く虫の声を聞き分けます。アオマツムシ、エンマコオロギ、ツズレサセコオロギ、カンタンなど。タブレットで鳴く虫の映像、鳴く声も利用して解説を聞きます。

雲が多く星の観察はできないかな…と思っていたところ、急に雲の切れ間から青空。土星や夏の大三角の星たちを見るることができました。星に詳しい指導員の楽しい解説にみんな大満足。無事、虫とコウモリと星の観察を終えることができました。

あっという間、とても楽しかったという参加者の声。子ども達だけでなく大人も楽しめる観察会になったようです。

